

外 務 大 臣 殿

公益社団法人 日本国際民間協力会
理事長 小野 了代



平成26年度国際開発協力関係
民間公益団体補助事業完了報告書

平成26年8月26日付第59号をもって補助金の交付決定を受けた標記の事業が完了したので、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律第14条前段の規定により、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

記

1. 補助事業の名称
プロジェクト調査事業
2. 補助金の交付決定額及びその精算額（別紙のとおり）
（交付決定額）1,996,159円
（精 算 額）1,825,256円
3. 補助事業の実施期間
平成26年8月26日から平成27年3月31日まで
4. 補助事業の成果
事業完了報告書【別添1】完了報告書（詳細）のとおり
5. 別添資料
 - ① 事業完了報告書【別添1】－完了報告書（詳細）
 - ② 事業完了報告書【別添2】－事業地地図
 - ③ 事業完了報告書【別添3】－活動写真
 - ④ 事業完了報告書【別添4】－WRMA会議資料
 - ⑤ 事業完了報告書【別添5】－UN－Habitat会議資料
 - ⑥ 支払明細書類
 - ⑦ 領収書
 - ⑧ 会計監査報告書

以上



【1】Kaloka 村での漁民からの聞き取り調査の様子（後向き右から、松井、小野了代、小野修、一番左が岡田）



【2】Ogal BMU メンバーからの聞き取り調査の様子（左から佐々田、松井、小野了代）



【3】OSIENALA の事務所にて。（左側手前から佐々田、汐見、松井）



【4】佐々田氏、松井氏による日本の下水汚泥堆肥化事業（佐賀県）の紹介をしている様子



【5】OSIENALA のスタッフとの集合写真（前列左から、松井、Obiero、小野了代、Ogonda。後列一番左が汐見、中央が小野修。その右後ろが岡田）



【6】OSIENALA のエコサントイレ 1 号基



【7】3基連結のエコサントイレ。住民より説明を受けている様子



【8】エコサントイレ内部。バケツの中身は灰。



【9】UN-HABITAT での協議の様子
(左から、Laban、Ogonda、松井、佐々田)



【10】キスム市庁（環境部）で下水汚泥堆肥化事業（佐賀県）の紹介をしている様子



【11】Kibuye Bio Centre



【12】Bio Centre 内のトイレ



【13】 バイオガスのコンロ



【14】 KIWASCO にて協議している様子



【15】 J-Fish 加工工場（キスム）にて。



【16】 加工して残ったナイルパーチ



【17】 不要となった魚の内臓



【18】 WRMA にて。



【19】WRMA にて。



【20】スラム地区（Kisat）の入口



【21】スラムにあるトイレ（PIT）



【22】ゴミだらけの通り



【23】ゴミだらけの小川



【24】カカメガ・ブシアンガラ村での住民との協議の様子（立っているのが小野了代）

以上

別 紙

交付決定の内容		支払実績額 (B)	確定額 (C)
補助対象経費の区分	補助金の額 (A)		
調査員等旅費	1,345,403	1,179,500	1,179,500
調査員等人件費	495,756	495,756	495,756
通信費	5,000	0	0
事業資料作成費・購入費	0	0	0
事業管理費	0	0	0
外部監査費	150,000	150,000	150,000
小 計	1,996,159	1,825,256	1,825,256

備 考：確定額は補助金の額（A）と支払実績額（B）のいずれかの低い額とする。

補助対象外 経費の区分	所要額 (自己資金)	支払実績額 (D)	摘 要
調査員等旅費	1,749,246	823,538	
調査員等人件費	480,012	376,203	
通信費	49,999	671	
事業資料作成費・購入費	670,000	574,582	
事業管理費	51,790	50,511	
外部監査費	0	0	
小 計	3,001,047	1,825,505	
補助金使用実績 (C)	1,825,256	自己資金使用実績 (D)	1,825,505
総事業費 (C) + (D)			3,650,761